

宮川の風 第67号

平成30年11月22日（木）発行

宮川小学校校長室からのたより

「売り家と唐様で書く三代目」江戸時代にできた川柳で、意味は次のとおりです。

初代は、苦勞して家や財産を築く。

二代目は、それを受け継いで手堅く維持する。初代が苦勞したのを知っているのに、金持ちになったからといって浮ついた暮らしはしない。

しかし、三代目になると、生まれたときから金持ちで苦勞を知らないで、遊芸などで実を持ち崩し没落して、ついに自分の家を売り家に出すようになる。その売家札が唐様で、しゃれている。遊芸におぼれて商売をるすにした生活がしのばれる。

商売にしても芸事にしても、後継者を育てることは非常に大事なことです。苦勞して築いた全てが、たった一代の失敗で台無しになってしまいます。おそらくこれまでも、そのような事例は山ほどあるはずです。

では、永年続く「老舗」といわれるところでは、どのようなことが行われているのでしょうか。裏面の話をお読みください。

教えることを怠らず、後継者としての資質を高める環境を維持することが大切なようです。

「口伝」と「しつけ」は、決して老舗だけでなく、各家庭においても、また、学校においても重要なことだと思えます。私たち大人の心構えにかかっているといえそうです。

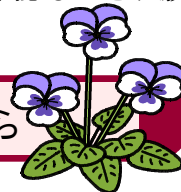
宮川小学校の「三つの『あ』」。「あいさつ」「あつまり」「あとしまつ」を繰り返し指導し、徹底を目指していきたいと思えます。

各ご家庭では、「わが家の家訓」はありますか？わが子に身に付けてほしい重要なことを決めて、繰り返し、繰り返し「口伝」「しつけ」を行っていきましょう。県PTA連合会でも「一家庭一家訓」を推奨しています。

学校のホームページに新しいブログがどんどんアップされています。学校行事や学年の学習活動の様子、PTAの案内などたくさん情報を見ることができます。

インフルエンザが発生しています。本校でも数人の罹患があります。うがい・手洗い・換気・マスクの着用など呼び掛けています。ご家庭でも、栄養・睡眠・朝の体温確認などをお願いします。

ある日のできごとから



火曜日に児童集会がありました。今回は、体育委員会と栽培委員会が発表してくれました。体育委員会からは、校庭の遊具の正しい使い方や安全な遊び場所などについてクイズ形式での発表がありました。体育館正面のスクリーンに写真を映し出ししながら、分かりやすく教えてくれました。多くの場合、ケガは誤った使い方や活動するには適切でない場所で起こります。ケガが多い今の時期に発表してくれたことで、子どもたちが安全に過ごせるようになると期待しています。

栽培委員会は、学校で育てている花の苗の紹介や管理のことについて発表してくれました。いつも花つくりやさまざまな環境整備に努力している学校主事の職員にもインタビューに答えてもらいながらの発表でした。日頃、子どもたちの前で話をする機会のない主事さんたちから直接話を聞くことができ、たいへん良い学習の場となりました。

実は、主事さんたち、今年は3人体制ということもあり、花つくりはもちろん、道具の修繕や施設の補修など、プロ並みの技術で対処してくれています。温室内の棚、バックネット下のコンクリートに描いてある丸的、テント倉庫下の壁など、気づかないうちに次々ときれいになっているのです。これからも、環境がどんどん改善されていくと思います。

（文責；鹿児島市立宮川小学校長 松永幸二）